

令和6年度 兵庫県立播磨南高等学校 学校評価に関する報告

【令和6年度 重点目標】

ア	自分の力を信じ、目標に向けてやり抜く力の育成	4	できている				
イ	自らを律し、主体的に学びに向かう力の育成	3	だいたいできている		生徒	401	87.7%
ウ	地域で学びを深め、地域に貢献できる力の育成	2	あまりできていない		保護者	126	27.6%
		1	できていない		教員	27	93.1%
						457	457
						29	29

※前年度比±0.2以上は下段に記載

領域	評価の観点	評価項目	質問	今年度の取組状況	回答 数	保護者	生徒	教員
学校 経営	開かれた学校づくり	広報活動の充実	学校ホームページやClassiまたはスタ ディサプリを活用できている。	学校ホームページを活用し、本校の教育活動状況のタイムリーな 広報とともに、内容の充実に努めた。また、行事開催のお知らせや 配布物の案内等をClassi及びスタディサプリを用いて随時配信し た。	1	3.0	3.0	3.0
			制服の着こなし・頭髮・通学マナーな ど、規範意識は高まっている。	服装・頭髮について、行事ごとに学年指導を行った。今後継続的か つ一貫した指導の確立が必要である。	2	3.0	3.2	2.2 +0.4
	生徒指導	基本的な生活習慣の確立	生徒は登校時刻を厳守し、時間をしっ かり守れている。	指導は継続しているものの、一定数の生徒が遅刻している。交通マ ナーや通学マナーについても、苦情電話は減少しているがなくなっ てはいない。苦情電話があれば、すぐに現場の確認、巡回を行うな どの対応を行った。	3	3.1 -0.2	3.3	2.2
			生徒は学校行事や委員会活動におい て主体的に行動し、学校の活性化に貢 献している。	内容を工夫しながら、コロナ前の学校行事はほぼ全て行うことがで きた。校外学習や全校球技大会で生徒の主体的な行動を促した。	4	3.0	3.0	2.8 +0.6
		生徒の自立的・自主的活動 への支援	地域貢献活動を通して奉仕の精神を養 うとともに、地域の活性化に貢献してい る。	は里ま春風フェスタ、国際交流 IN HARIMAなどに参加し、地域に貢 献するとともに、総合的な探究の時間では地域の課題発見と解決 に取り組んだ。	5	2.7	2.6	2.8 +0.3
			いじめの未然防止および早期発見	いじめアンケートを行い、その結果を踏まえて聞き取りを行った。あ わせていじめ対応委員会を開き情報を共有し、いじめの可能性のある 事象への対応を行った。	6	3.0	3.1	2.9
		品格のある生徒の育成	生徒は品格のある所作や言葉づかい、 制服の着こなしができています。	スマホマナーについて職員アンケートを実施し、校則の見直しも含 め、生徒自身に考える機会につなげようとしている。式典において は、各学年が足並みを揃えた指導ができた。	7	2.7	3.1	1.7
	進路指導	個々の能力・適性を踏まえ た進路指導の実現	生徒は就職模試や面接指導等を通し て、働くことの意味を理解できている。	就職希望者に対し、インターンシップへの参加や継続的な就職指 導等、を行った。また、地元の職業人を講師に迎えて講演会を行っ た。さらに、キャリアアートを自校生徒向けに修正し、事前・事後の 指導に用いるなどして、望ましい職業観の育成に努めた。	8	2.7	3.0	2.8
			生徒は学校で行われた進路ガイダンス で提供された資料を活用し、進路選択 に役立てている。	業者による分野別のガイダンスに加え、大学の魅力を伝える進路 ガイダンス、職業ガイダンスを実施した。	9	2.7	3.0	2.5 -0.2
		将来を見据えたキャリア教育と段階的な目線に基づく 進路指導の実現	生徒は自らの進路目標を立て、実現に 向けて取り組んでいる。	進路関係のガイダンスを行い、早期に目標を立て、進路実現に向 けて取り組めるように情報提供を行った。また、1年対象に生き方を 考える講演会を行うとともに、その事前学習と振り返りを行った。	10	2.7	3.1	2.5
	地域貢献活動の充実	地域行事へのボランティア 参加や学校間交流を通じ て、播磨町の活性化推進に 貢献する	生徒は生徒会・地域が主催する各種行 事、ボランティア活動に、積極的に参加 している。	うみえーるあおぞらスプラッシュといった子ども用イベント、「ともに 生きよう ふれあいのまち」映画会、「こころふれあう町民のつどい」 講演会といった地域の人権教育に関する播磨町主催のイベントにも 参加した。	11	2.4	2.5	2.9 +0.4
			播磨町の活性化と、地域の課題解決に 積極的に取り組んでいる。	夏休み小学生学習教室やスポーツ体験教室にボランティア生徒が 参加し、地域の活性化に関わった。播磨町の活性化・地域の課題 解決につながるボランティア活動を行った。	12	2.3	2.6	2.8
教育 課程	基礎・基本の定着	基礎学力の向上・公開授業 の実施	生徒はスタディサプリなどにより、学 びに向かう気持ちが高まり、基礎学力が 定着している。	スタディサプリの到達度テストを実施。学びに向かう姿勢を養うと ともに、基礎学力の定着に努めた。	13	2.5	2.8	2.3
	個に応じた学習指導の徹底	生徒の実態に即した授業改 善	生徒は授業内容をよく理解できている。	対話・発話中心の授業を行うことで、一方的な講義形式の授業割 合を少なくしていている。1クラス2展開の少人数授業を行う科目 などで、目の届きやすい授業を行い学力の定着を図った。	14	2.7	3.0	2.5 +0.2
課題 教育	防災・安全教育	防災・安全教育の充実	防災・安全教育や避難訓練によって、 不測の事態に適切に対応できる力が身 についている。	1・2学期に全校での避難訓練を実施した。1月9日には能登半島 地震、1月17日に阪神淡路大震災の追悼行事を行った。	15	2.8	3.2	2.9 +0.3
	人権教育	人権教育の充実	人権ホームルームや講演会などによっ て、人権意識が高まっている。	各学年別にテーマを設定して人権学習を行った。今年度は、各教 室にて担任による指導を行った。	16	2.8	3.0	2.5
	情報教育	情報活用能力の育成	総合的な探究の時間を含む全科目の 取組を通して、情報活用能力は高まっ ている。	総合的な探究の時間において、フィールドワーク等でタブレットを使 用して情報の整理や共有を行った。	17	2.8	3.0	2.9
		情報モラルの向上	情報の授業や講演会などによって、情 報モラルは高まっている。	情報の授業を中心にモラル向上に努め、タイミングを図りながら ホームルーム単位でも啓発活動を実施した。	18	2.8	3.0	2.4 -0.2
	学校の個性化・多様化	県立高校魅力アップ推進事業 を活用し、特色類型の活 性化を図る	専門家を講師に招き、特別講座を実施 することで、より専門的な指導を受けら れている。	芸術保育類型としての音楽と家庭科、地域デザイン類型専門科目 で外部講師による授業を実施した。また、学校説明会では、生徒が 行事運営補助を行うとともに、地域デザイン類型の学びに関する説 明と経験談を担当した。	19	2.7	3.0	2.7
教育 課程	自ら学び自ら考える力の育成	「探究」を中心とした授業改 善に努める	総合的な探究の時間の内容の充実に 積極的に取り組んでいる。	昨年度末作成した総合的な探究の時間の年間計画に沿いつつ、 生徒の反応と探究の進捗状況を見ながら適宜修正を加え実施し た。	20	2.9		2.7
	基礎・基本の定着	基礎学力の向上・公開授業 の実施	生徒の基礎学力向上へ向けた授業改 善に積極的に取り組んでいる。	公開授業の期間を設け、職員が相互に見学し意見交換を行った。	21	2.9		3.1 +0.4
	個に応じた学習指導の徹底	進路や将来を見据えての入 試、科目の設定	生徒の進路を見据えた科目の設定がさ れている。	進路実績を踏まえ、学校設定科目の充実や生徒の実情に合ったカリ キュラムを検討した。英語において少人数授業を実施し、総合的 な探究の時間の内容の充実に取り組んだ。個別の補習は毎日の ように実施した。	22	2.8		3.0 +0.3
学校 経営	開かれた学校づくり	広報活動の充実	学校案内、学校説明会の充実を図る。	オープン・ハイスクール及び学校説明会を生徒が運営し、生徒が説 明するかたちに変更した。約9割の参加者が、播磨南高校のことが 理解できたと回答した。また、学校説明会における体験授業は、参 加中学生の多くが良かったと回答し大きな成果を収めた。教員 が行ってきた中学校訪問を校務運営メンバーで行い新類型を中心 に情報を伝えた。	23			3.0 +0.3
	教職員の資質向上	教員の指導力の向上	外部講師を活用した研修、校外研修な どで資質向上を図る。	高等学校における通級指導に関する研修を実施した。従来の指導 では成果がでない生徒についての支援のあり方について理解を 深めた。BYOD導入三年目となり、タブレットを用いた授業が多 くなった。また、デジタル採点システムも多くの教員が使うようにな った。	24			2.8
	危機管理体制の整備	実効性のある危機管理体制の 確立と危機管理マニュアル を作成する。	関係機関との連携を密にしながら、危 機管理マニュアルを改訂するとともに、 避難訓練等を実施する。	播磨町危機管理グループと意見交換を行なっている。播磨町と包 括的な連携協定を結び、避難所と福祉避難所の協定を締結してい るため、継続的に危機管理マニュアルを改訂していく必要がある。	25			3.3 +0.2
教育 課程	総合的な探究の時間	地域との協働を中心とした、 総合的な探究の時間の計 画の立案	地域の課題発見・課題解決能力を養う ことにつながる内容の総合的な探究の 時間を実施する。	播磨町との包括的な協定を締結したため、地域の課題発見・課題 解決に向けた活動に取り組む際、播磨町各機関と連携すること ができた。また加古川税務署と連携し、地元企業による特別講義を 実施した。	26			2.8 -0.2
	特色ある教育課程の編成	地域デザイン類型の活動をさ らに充実・発展させる	地域デザイン類型の各授業、活動を充 実させ、より専門的な知識・技術の習得 を目指す。	特別非常勤講師として大学の教員を招き、より専門性の高い内容 の授業を行っている。	27			3.2 +0.2
		学校設定科目と多様な選択 科目の内容を検証する	新学習指導要領を視野に入れてカリ キュラムを編成するとともに、生徒の実 態に即して授業内容や評価の見直しを 行う。	地域デザイン類型の方向性を全教員の共通理解を図りながら、入 れながら学校設定科目と選択科目の内容を検証した。あわせて、 カリキュラム・マネジメントの視点による教育課程の改善に取り組ん だ。	28			2.8